



MAGICO S1 Mk2

2WAY SPEAKER SYSTEM

MAGICO は、スピーカー設計とその製造において最先端を走るメーカーです。

ここに最新で革新的な価値観を生み出すスピーカーシステム “S1 Mk2” を発表いたします。

“S1 Mk2” は、2013 年に発表された 2 個のドライバーによるスピーカーシステムの限界と新基準を示したモデル “S1” の基本コンセプトを継承し既に発表済みの “S3”、“S5”、“S7” と「S」シリーズを構成します。

コンパクトな形状ながら斬新なテクノロジーが投入され、MAGICO のパフォーマンスを余す事無く提供します。“S1 Mk2” は、外観フォルムこそオリジナル “S1” と類似しますが、ティアドロップ円筒型エンクロージャーのみが共通の仕様で、それ以外のツイーター、ウーファー、クロスオーバー・ネットワーク、ブレース（内部構造材）、天板、底板にいたるまで全て新設計になり、マイナーチェンジではなくまさにフルモデルチェンジになります。

“S1 Mk2” 最大の特長はエンクロージャーのモノコック構造にあります。厚さ 3/8 インチ (9.525mm) の、ティアドロップ円筒型のアルミニウム合金引抜材で、垂直方向にシームレスとなっており、天板と底板を加え僅か 3 ピースでエンクロージャは形成されています。そのエンクロージャは、密閉型ならではのスムーズで淀みないトランジェント特性に優れた低域再生を実現しています。

エンクロージャ内部は、4 層にキャストアルミニウム構造材/ブレースが配置され、回折効果、内部共振、ダンピングにおいて最適化され、その外観のスマートさからは想像できないマッシブな内部構造となっています。オリジナル “S1” では、5 層のブレースが用いられ、外側（エンクロージャー）に向かってテンションを掛ける形で固定されていました。S1Mk2 では、ブレースをエンクロージャーに溶接することにより、ブレース自体をよりシンプルでスマートな形状に変更しながらも 4 層で十分な剛性とダンピングを実現しました。これによりエンクロージャー内部のブレースに起因する音楽再生への影響を最小限に留めながら、エンクロージャー内部の空気の流れを効果的に最適化する事に成功しました。

新設計の 1 インチのツイーター (MB7) と 7 インチのミッドバス (M390G) は、“S7” の開発で得られた最新且つ最先端のエンジニアリングを生かしています。

マジコは、ツイーターのベリリウムドーム表面にダイヤモンドコートを施した最初のメーカーです。

このダイヤモンドコート・ベリリウム振動板は、10 周年限定モデルの “M-Project” と Q シリーズのフラッグシップ “Q7 Mk2” で究極の 28mm 口径が初めて採用されました。S シリーズには、その後発表された S シリーズトップモデルの “S7” に 1 インチ口径が初めて採用されました。

S1Mk2 のために新設計された、MB7 ダイヤモンドコート・ベリリウム振動板ツイーターは、S1Mk2 に合わせた感度とパワーハンドリングで専用設計され、広指向性と低歪みを実現しています。

また磁気回路は、ネオジウムマグネットを採用しロングストロークの振幅幅に合わせてカスタマイズされています。

マジコは、ミッドバスユニットにグラフェンをコーン素材に用いた最初のメーカーです。

グラフェンは、膜のように薄い素材で六角形の分子構造を持つシングルレイヤーで形成されています。75mm のボイスコイルのミッドバスユニットの振動板には、コア素材として新たな硬質発泡体を使用され、カーボンナノチューブとグラフェンと合わせて振動板を形成しています。これは従来のユニット（カーボンナノチューブとロハセル）と比較して、20% 軽く 300% の強度を誇ります。

このミッドバスユニットは、受け持つ周波数帯域の音楽再生において歪みを最小限に抑えます。ユニット開発には最新の有限要素解析 (FEA) が用いられています。この解析方法は製品の構造または性質における潜在的な問題や既知の問題を特定して、それらの解決を目的としてバーチャルな環境でのシミュレーションを行います、具体的には、複数の要素 (音響、構造、電磁、温度) における挙動を包括的な単一プラットフォーム上でシミュレーションを実行します。

磁気回路には、ツイーター同様ネオジウムマグネットが使用され、非常に安定した磁界の中をチタニウム・ボイスコイルボビンが高効率に動作します。新形状のトップカバー (天板) は、エンクロージャーによる回折を最小限にとどめるために凸形状に加工されています。

新形状のアウトリガー (4本の足) は、スピーカー本体の重心を低くし、さらに縦方向の安定性を高めています。高さ調整可能なスパイクにより微妙な調整が可能です。

新設計のネットワーク・クロスオーバーは、混変調歪みを最小限に抑えながら再生可能周波数帯域と位相リニアリティを最大化します。ドイツ・ムンドルフ社の最高級クロスオーバーパーツ (中空コイル、フィルムコンデンサー) を惜しげも無く投入し正確な信号伝達を実現しています。



M-COAT High Gloss Finish



M-CAST Satin Finish

製品概要

- 形式： 2ウェイ2スピーカー / 密閉フロースタンド型
- 使用ユニット： 1 x 1インチφ MB7 ダイヤモンドコート・ベリリウム振動板 Tweeter
1 x 7インチφ M390G Graphene Nano-Tec Mid-Woofer
- 再生周波数帯域： 32 ~ 50 kHz (+/- 3dB)
- 推奨パワー： 50W 以上
- 能率： 86dB
- インピーダンス： 4Ω
- 外形寸法： 1,142H x 338W x 302D mm (H : スパイク含む、D : SP 端子含む)
- 重量： 38.0kg
- スピーカー端子： Copper シングルワイヤリングポスト
- スピーカー支持： 440C ステンレススパイク x4 付属 / スパイク受皿 x4 付属
- サラネット： Perforated Black Metal (4ポイントマグネット装着)

価格：	M-CAST (6色)	3,960,000円(税込 ペア)/3,600,000円(税抜 ペア)
	M-COAT (6色)	4,906,000円(税込 ペア)/4,460,000円(税抜 ペア)



*ここに記載の内容は改良等のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。



〒105-0022 東京都港区海岸 2-7-70
TEL(03)5419-1594
https://www.electori.co.jp/con_top.html